




【基本施策の目的】


河川や水路などの公共用水域の水質保全を図り、良好な都市環境および水環境を創出し、市民の衛生的で快適な生活環境を確保します。

【基本施策の今後の優先度】

中	基本施策の指標値は基本的に横ばいであるものの、河川や水路などの公共用水域の水質保全を図るとともに、良好な都市環境及び水環境を創出し、市民の衛生的で快適な生活環境を確保するための事業を展開していることや、平成31年度に向けて法適化の事務の準備をしている。 しかし、同一分野内における他の基本施策との比較の結果、「中」と判断した。
----------	--

【指標の分析と今後の対応】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	今後の対応	
公共下水道接続率	%	実績	64.0	65.8	66.3	67.2	平成28年度に供用開始区域を約38.6ヘクタール拡大し、未接続世帯への接続啓発や下水道の普及促進活動等により公共下水道接続率を増加させる事ができた。財源や人員の制約はあるが、事業計画に沿った下水道整備に努めることで、今後の公共下水道接続率は増加する見込み。	引き続き事業計画に沿った下水道整備を推進するとともに、未接続世帯に対する普及促進活動等により公共下水道接続率の向上を図る。	
		目指す方向性							
展開方向	指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直し内容
1 公共下水道の普及を推進します	公共下水道普及率	%	実績	70.1	71.6	72.4	73.8	計画的かつ効率的な下水道整備を実施した結果、平成28年度に供用開始区域を約38.6ヘクタール拡大し、公共下水道普及率を増加させることができた。現行の事業計画で、今後の公共下水道普及率は増加するが、財源や人員の制約があるため、計画よりも進捗は遅れる見込み。	事業計画の推進を図るためには、事業費の増額が必要であるが、財政的・人員的制約があるため、国庫の積極的な活用や早期発注に努めるなど引き続き効率的な事業執行に努める。
			目指す方向性						
2 老朽管などの更新を推進します	不明水率	%	実績	13.3	17.3	22.8	19.7	老朽化が進んでいる下水道管から雨水が流入していると想定されるが、管路やマンホール蓋からの雨水流入は管路内面止水及び蓋替工事により対策を実施している。前年より雨量が約14%減ったこともあり、不明水率は低下した。今後、耐用年数をむかえる下水道管が増えてくるため、適切な対策を講じなければ不明水率も増加する見込み。	不明水率が高い地域を対象に重点的な調査を行うなど計画的な管路調査を実施するとともに、引き続き管路内面止水及び蓋替工事を実施し、不明水の原因となる雨水流入の防止を図る。
			目指す方向性						
	下水道施設故障件数	件	実績	0	0	0	0	ポンプ・処理施設は日常点検を実施しており、排除機能が停止する重大な故障は発生していない。中継ポンプ場の電気及び機械設備の更新工事も完了し、引き続き日常点検や適切な修繕の実施により重大な故障は防止できる見込み。	引き続き日常点検を実施することで、施設の適切な維持管理に努める。
			目指す方向性	0件					

展開方向	指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直し内容
3 公共下水道への接続を促進します	公共下水道水洗化率	%	実績	91.3	91.8	91.5	91.0	<p>平成28年度に38.6ヘクタールの供用開始を行ったが、下水道本管への接続までには使用者の状況等により時間がかかる場合がある。平成28年度は新たに供用開始となった区域内人口(分母)の増が新規の接続人口(分子)の増を上回ったことにより、わずかに水洗化率が減少している。今後も供用開始区域内の接続状況により増減する見込み。</p>	引き続き未接続世帯への戸別訪問等を行うとともに、街頭や説明会等でのPRにより接続促進に努める。
			目指す方向性						

経常事業	削減に関する具体的な考え方	展開方向 1	現状の取組を引き続きしっかりと進めていく。
		展開方向 2	現状の取組を引き続きしっかりと進めていく。
		展開方向 3	現状の取組を引き続きしっかりと進めていく。